

# 葉脈標本をつくろう



植物の葉を光に透かしてみると、葉脈が網の目や直線状の筋のように明るく光って見えます。葉をアルカリ性の液で煮てから、柔らかくなった葉肉を取り除き、葉脈標本をつくってみましょう。

## 準備する物

- ・網状脈の葉
- ・ビーカー(1000ml)
- ・水酸化ナトリウム
- ・実験用コンロ
- ・割り箸
- ・下敷き
- ・歯ブラシ

## つくりかた

- ① 水酸化ナトリウム水溶液をつくる。
    - ・濃度 10%程度の水酸化ナトリウム水溶液をつくります。(水 400ml に 40g の水酸化ナトリウムを溶かす。この水溶液は強いアルカリ性なので、手につけないように注意しましょう。また、目に入らないように安全メガネをつけて実験しましょう。)
  - ② 葉が茶色になるまで煮る。
    - ・①の溶液に葉を入れ、10～15 分間、葉が茶色になるまで煮る。
  - ③ 葉を水でよく洗う。
    - ・液を手につけないように、割り箸を使って葉を取り出します。別のビーカーかトレーに水を入れ水酸化ナトリウムが葉に残らないようによく洗います。この時、葉が破れないようにていねいに扱ってください。
  - ④ 歯ブラシで葉肉をとる。
    - ・水で洗った葉を下敷きに乗せ、歯ブラシの毛先を葉に直角にあてて、軽くたたくようにして葉肉を取り除きます。歯ブラシでこすってしまうと葉が破れてしまうので注意が必要です。これで、葉脈標本はできあがりです。
- ◎ さあ、せつかくの葉脈標本です。ラミネートフィルムをかけ、しおりにしておきましょう。

※ 葉脈標本づくりに適している植物としては、カナメモチ、ヒイラギ、ヒイラギモクセイ、ツバキなど厚くてかたい双子葉植物の葉が適しています。